



東京情報大学・香取市 地域連携フォーラム 2022

回覧

佐原三菱館を建てた 川崎財閥を知る

～ 初代・川崎八右衛門の足跡～

パネル
展示
同時開催

令和5年

2/16 (木)

14:00～16:00 (13:30 開場)

会場

香取市佐原文化会館

第一部 【講演】

初代・川崎八右衛門を知る

久信田 喜一 (茨城地方史研究会 会長)

第二部 【パネルディスカッション】

佐原三菱館の歴史と価値

久信田 喜一 (茨城地方史研究会 会長)

伊藤 幸郎 (東京情報大学・非常勤講師)

坂本 行広 (香取市 教育委員会 生涯学習課 文化財班・主幹)

コーディネーター 堂下 浩 (東京情報大学 教授)



※詳細については、裏面又は東京情報大学ホームページをご覧ください

お問合せ・申込先

香取市役所 経営企画部市民協働課

☎0478-50-1261



東京情報大学・香取市 地域連携フォーラム 2022

佐原三菱館を建てた川崎財閥を知る ～初代・川崎八右衛門の足跡～

千葉県香取市の佐原にある歴史的建造物である佐原三菱館は1914(大正3)年に旧川崎銀行佐原支店として建てられた千葉県の有形文化財に指定される建物である。屋根は木骨・銅版葺で覆われ、品質の優れた国内産のレンガを使用した外壁で囲まれ、そして一部にドーム形式を用いた荘厳な明治洋風建築である。この香取市を代表する歴史的建造物である佐原三菱館は2014(平成26)年から修復に向けた検討と作業が始められ、2022(令和4)年3月に保存修理工事は終了し、現在一般公開されている。

修復工事を通して、イギリス製のレンガでなく国内産が使用されていたことや、館内にはシンボリックな暖炉が置かれていたことなど新しい事実が明らかとなった。また、ルネッサンス様式をベースに銀行として威厳に満ちた品格や町並みに適合した風格が醸し出す存在感だけでなく、大事な資産を守るという観点で防災面でも優れた設計であったことが判明した。

そこで今回、こうした地域を代表する荘厳な佐原三菱館を建設した旧・川崎銀行と、それを傘下におさめていた川崎財閥にスポットをあてた公開講座を二部構成で実施する。第一部では久信田喜一氏(茨城地方史研究会・会長)による、明治初期に川崎財閥の基礎を築いた川崎八右衛門の波乱に満ちた生涯に関する講演会を実施する。そして、第二部ではパネルディスカッション方式で、伊藤幸郎氏(東京情報大学・非常勤講師)からは太平洋戦争時において統制経済が強まる中で第百銀行(旧・川崎銀行)が三菱銀行に吸収されるまでの経緯、そして坂本行広氏(香取市教育委員会生涯学習課文化財班・主幹)からは佐原三菱館の復原工事で発見された事実やその過程について説明を受けた上で、佐原三菱館を保存する意義についてパネリスト間で議論する。

今回の公開講座を通して、川崎財閥が佐原の経済を重視した理由や、旧・川崎銀行佐原支店が「三菱銀行佐原支店」となった経緯などを知ること、佐原三菱館の歴史的価値を改めて認識し、そして誇りに思えるきっかけを提供する。また、同時に佐原三菱館と旧・川崎銀行に関するパネル展示会をエントランスで実施します。

主催 東京情報大学・香取市

開催日 令和5年2月16日(木) 14:00～16:00 (13:30開場)

会場 香取市佐原文化会館(千葉県香取市佐原イ211)

申込方法 事前予約制 令和5年1月16日(月)申込開始 (定員:350名)

■インターネットでのお申込方法 [地域連携フォーラム申込フォーム](#)
(東京情報大学 WEB サイト > 社会貢献・公開講座 > 公開講座)

■電話でのお申込方法 香取市役所 経営企画部市民協働課 ☎0478-50-1261



担当部局 学校法人東京農業大学
東京情報大学 総合情報研究所
千葉県千葉市若葉区御成台4-1

香取市役所
経営企画部市民協働課
千葉県香取市佐原口2127